環境監査報告書

監査対象課・施設	新宿リサイクル活動センター
監査実施日時	平成29年10月31日
監査員	行政管理課長 宮端 啓介／教育支援課教育活動支援係長 林 政至
環境マネジメント推進員	新宿リサイクル活動センター 所長 一戸 健史

●優良事項・提案事項

区分	内容
優良事項 <small>(課・施設独自の取り組みなど優良事例と判断される事項)</small>	施設全体の毎月の光熱水費の使用量の推移を可視化し、職員会議等で周知・共有化を図るとともに、職員の意識啓発・資源等の節約に寄与している点が評価できる。
提案事項 <small>(課・施設の取り組み向上につながる提案事項)</small>	職員だけではなく、一般利用者に対する意識啓発・資源等の節約に向けた取り組みを推進することを望む。

●改善事項・環境法令に関する指摘事項

区分	内容	課・施設における改善・対応
改善事項 <small>(新宿区環境マネジメントを推進する上で改善すべき事項)</small>	電気使用量の平成28年度比0.5%減を目標としているが、気温の高い6月～8月及び18時～22時の会議室の利用時の電気使用量が増加しており、目標の達成が厳しい状況となっているため、エアコンの温度調整や一般利用者への意識啓発・資源等の節約を一層徹底されたい。	事業環境の変化により電気使用量の削減は難しくなっているが、ガス・水道を含めてトータルのエネルギー使用量の削減を目指すとともに、福祉作業所・駐輪場と協働し、一般利用者への意識啓発にも努めたい。
環境法令に関する指摘事項 <small>(新宿区環境マネジメントの重点項目に該当する環境法令の逸脱)</small>	該当なし	

上記環境監査の内容について、確認しました。

平成29年11月16日 環境マネジメント推進員 新宿リサイクル活動センター 所長 一戸 健史

環境監査が完了したため、上記のとおり環境マネージャーあて報告します。

平成29年11月24日 環境監査員 行政管理課長 宮端 啓介

28	年度
課・施設名	新宿リサイクル活動センター
所管建物名	新宿リサイクル活動センター

※ エネルギー使用量は所管建物全体の使用量です。

28 年度環境目標・達成状況

	目標		達成状況
	目標名	内容	
1	「こどもまつり」運営時の環境配慮	3月の「こどもまつり」において、紙皿等の使い捨て食器を使用しない。また団体名のパネル等を再利用可能なものにする。	「こどもまつり」においては、リユース食器を使用し、紙皿・割りばし等のゴミが出ないようにした。また団体名等のパネルは再利用可能なもので作成し、次回イベントに向けて保管している。
2	所管建物の電気使用量の削減	電気使用量の平成26年度比1%減を目標に、建物に入居する「高田馬場福祉作業所」と連携し、使用状況を共有し、建物全体で電気使用量を削減する。	平成26年度比1%減は当センター及び「高田馬場福祉作業所」との連携により達成することができた。今後の削減に向けて、施設内で照明の減灯が可能な箇所を模索中。
3	環境講座を通じての環境意識の啓発	協働講座、直営講座により、環境リサイクル講座やリサイクル工作を通じて、区民の皆様へ3Rの意識啓発を行う。 12/22～3/31の実施予定 協働講座：4回、直営講座：1回 出前講座：3回、イベント参加：3回	計画通りに環境講座を実施することができた。当センターは環境問題の中でも3Rを中心とした活動を行うので、今後とも意識を高めるべく講座内容を考えていきたい。

環境法令(重点項目)の管理

	対象	管理・点検の状況等
1	業務用フロン使用 エアコン室外機(GHP)8台	法令に従い、3ヶ月に1回以上の簡易点検、1年に1回以上の定期点検を実施している
2		
3		
4		
5		

紙、自動車燃料使用量、ごみ排出量状況

項目	単位	H28				
紙	枚	106,250				
ガソリン(自動車)	ℓ	0				
軽油(自動車)	ℓ	0				
可燃ごみ	kg	404				
不燃ごみ	kg	79				
備考						
評価	ごみの排出については2年連続で僅かながら減少を続けている。					

建物のエネルギー等使用状況

項目	単位	H28	建物名		新宿リサイクル活動センター	
電気	kwh	204,477				
ガス	m ³	23,391				
上水道	m ³	2,527				
A重油	ℓ	0				
軽油	ℓ	0				
灯油	ℓ	0				
備考						
評価	施設の利用者数や事業内容の増加に伴い、エネルギー使用量が増加傾向にある。					

上半期の進捗状況	
年間の活動状況評価	28年度の環境目標については達成することができたが、エネルギー使用量増加の対策については、複合施設のため同居する他事業者も含めての削減策が必要である。

記入日	目標	平成29年5月12日	上半期	平成29年10月13日	評価	平成30年5月4日
-----	----	------------	-----	-------------	----	-----------

〈建物所管部署〉

29	年度
----	----

課・施設名	新宿リサイクル活動センター	環境マネジメント推進員	一戸 健史
所管建物名	新宿リサイクル活動センター		

29 年度環境目標・達成状況 ※太枠内を年度当初に記入

	目標		達成状況
	目標名	内容	
1	所管建物の電気使用量の削減	電気使用量の平成28年度比0.5%減を目標に、建物に入居する「高田馬場福祉作業所」と連携し、使用状況を共有し、建物全体で電気使用量を削減する。	年度実績は平成28年度比:101.7%で未達。 要因としては、①会議室稼働増・前年比130%⇒+1.5%②前年よりも気温高い⇒特に7月は+5%③太陽光パネルの発電量⇒+0.5~1% 対策として、①リサイクル活動センターでは事務所内減灯を実施(平成29年6月~)②地下駐輪場で減灯と一部を時間消灯実施。(平成30年4月~)
2	イベント運営時の環境配慮	11月の「アトムフェスタ」・3月の「こどもまつり」において、紙皿等の使い捨て食器を使用しない。また団体名のパネル等を再利用可能なものにする。	両イベントにおいてリユース食器の使用を実施。またパネル類もこれまでのイベントから引き続き再利用を実施した。
3	環境講座を通じての環境意識の啓発	協働講座、直営講座により、環境リサイクル講座やリサイクル工作を通じて、区民の皆様へ3Rの意識啓発を行う。 平成29年度の実施予定 協働講座: 26回、直営講座: 8回 出前講座: 12回、イベント参加: 15回	環境講座については予定を上回る回数を実施できた。 平成29年度の実績 協働講座: 27回、直営講座: 8回 出前講座: 22回、イベント参加: 21回

環境法令(重点項目)の管理 ※太枠内を年度当初に記入

	対象	管理・点検等の実施及び結果
1	業務用フロン:エアコン室外機(GHP)8台・冷水器5台	冷水器:6/16・9/28・12/23・3/15、エアコン室外機(GHP):4/19・6/29・9/28・12/23・3/15いずれも異常なし
2		
3		
4		
5		

紙、自動車燃料使用量、ごみ排出量実績

項目	単位	28	29			
紙	枚	156,250	116,950			
ガソリン(自動車)	ℓ	0	0			
軽油(自動車)	ℓ	0	0			
可燃ごみ	kg	404	816			
不燃ごみ	kg	79	87			
備考						
評価	紙については、29年度使用分印刷物の一部が28年度にずれ込みあり。ごみについては、年度当初に不用品の廃棄を行ったこと、講座・イベントの回数増に伴い増加しているが、削減を目指したい。					

建物のエネルギー等使用量実績(所管建物全体の使用量)

項目	単位	28	29			
電気	kwh	204,477	208,001			
ガス	m ³	23,391	23,037			
上水道	m ³	2,527	2,441			
A重油	ℓ	0	0			
軽油	ℓ	0	0			
灯油	ℓ	0	0			
備考						
評価	電力は会議室利用増加(前年比130%)を主要因として増加ながら、ガス・水道は取り組みが功を奏し削減できた。エネルギートータルではほぼ前年並みとなった。					

上半期の進捗状況	電力削減について大きく苦戦中。他の目標については問題なく達成できる見込みである。
年間の活動評価	特にエネルギーについては、毎月の実績・変動要因等を分析し可視化を行い情報共有を継続している。それにより減灯等の改善策も出て来ているので、来期に期待したい。イベントの環境配慮と環境講座については当初予定以上の結果を残すことができた。